

平成22年度以降に競争性のある契約に移行予定のもの(第3四半期)

(独立行政法人名: 農業・食品産業技術総合研究機構 )

契約名称及び内容	契約職等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	契約締結日	契約の相手方の商号又は名称及び住所	随意契約によることとした業務方法書又は会計規程等の根拠条文及び理由	予定価格	契約金額	落札率	再就職の役員の数	移行困難な事由	移行予定年限	備考
大中家畜代謝実験棟C・D室呼吸試験装置(ガス分析装置)更新工事	畜産草地研究所長 松本 光人 (茨城県つくば市池の台2)	平成21年11月24日	(株)堀場エステック東京営業所 (東京都千代田区東神田1-7-8)	会計規程第38条第1号	2,699,550	2,610,300	96.7%	—	公募公告を行ったが、参加意思表明書の提出が左記相手方のみであったため。	平成22年度	
サイロ用チェア型ゴンドラ	畜産草地研究所那須研究拠点 草地研究監 加茂 幹男 (栃木県那須塩原市千本松768)	平成21年12月4日	ニホンビソニー(株) (東京都港区芝浦4-15-33)	会計規程第38条第1号	—	3,150,000	—	—	公募公告を行ったが、参加意思表明書の提出が左記相手方のみであったため。	平成22年度	

〔記載要領〕

1. 本表は、「随意契約見直し計画」の対象となっている契約を対象とすること。
2. 本表は、平成21年度に締結した契約のうち、平成22年度以降に競争性のある契約への移行予定のものについて、当該契約ごとに記載すること。
3. 本表は、「公共調達適正化について」(平成18年8月25日付財計第2017号)記3. の記載方法に準じて記載すること。
4. 「移行困難な事由」欄は、平成21年度に競争性のある契約に移行できなかった事由を記載することとし、「移行予定年限」欄は、平成22年度以降の具体的な移行予定年限(例:平成22年度)を記載すること。